

長期維持管理技術委員会 平成28年度第2回 議事要旨

日時：平成29年3月27日（月）10:00～12:00

場所：阪神高速道路（株）本社 11F 会議室

出席：委員長：宮川 豊章（京都大学 特任教授）

委員：小林 潔司（京都大学経営管理大学院 教授）

森川 英典（神戸大学大学院工学研究科 教授）

杉浦 邦征（京都大学大学院工学研究科 教授）

議事：

1. 前回議事要旨の確認
2. 審議スケジュール（案）
3. 維持管理計画に係るマネジメントシステム高度化検討状況
4. 大規模更新事業の状況報告
5. 大規模修繕事業の状況報告
6. その他

主な意見等

○マネジメントシステム高度化検討状況

- ・ PC 桁や RC 床版の、経過年数による損傷発見数の推移は、基準改定等のタイミングの前後で仕分けするといった観点や、（PC 桁が）上縁定着か端部定着かで仕分けするといった観点、及び交通量の大小に応じて整理するという観点も取り入れられたい。
- ・ 供用後おおよそ 20 年経過後に損傷発見数が大きくなっている傾向を踏まえ、供用後 20 年経過すれば予防保全が必要という意識を持つべき。
- ・ PC 桁のグラウト充填不良による鋼材の腐食・損傷は、外観から確認できないため点検における難易度が高い。それをリスクとして認識し、しっかり内部損傷を調査するか、外ケーブルの設置を積極的に行うかといった検討を行われたい。
- ・ RC 床版について、防水工の性能が大きく劣化に関係するため、機能と費用のバランスを考えながら、可能な限り積極的に防水工（の更新）を施されたい。

○大規模更新事業の状況

- ・ 湊町鋼製フーチングの大規模更新については、耐震解析上の降伏部位も考慮しながら、被覆コンクリートに求める合成効果やその最適な断面について検討されたい。

○大規模修繕事業の状況

- ・ 詳細調査を行っている PC 桁について、ひび割れの原因が ASR である可能性もあるため、引き続き物性調査を続けてほしい。
- ・ 調査箇所を選定にかかる検討や、調査技術の選定にかかる検討といった情報は、大規模更新・修繕事業を越えて役立つ情報となるよう組織的に整理されたい。

以 上